

図書館の取り組み

全国の図書館が見本にしている三芳町の図書館の取り組みをいくつか紹介します。

中央図書館のサーバーで一括管理

学校図書館の蔵書を中央図書館サーバーで一括管理。学校図書館の蔵書整備が確実にできるので、読書推進活動により力を注げるようになっていきます。

ブックトーク授業訪問

町立図書館司書がブックトーク授業訪問を実施。町内小学校全5校全クラスに毎年実施(平成25年度79クラス、2,403人に実施)

小学校の授業に協力

「図書館利用体験授業」では、学年全員が図書館貸出券を作り、借りて返す体験をします。図書館職員が、「本の探し方」「利用の時の決まり」「ミニ・ブックトーク」を行い、楽しみながら図書館の利用の仕方を学びます。

講師として図書館職員を派遣

読書に関連する行事や研修会に職員を派遣。学年PTA行事「親子で本の世界を楽しもう」、教職員対象の「読み聞かせ研修会」、学校ごとの「読み聞かせボランティア勉強会」など。

学校への情報提供

学校図書館教育推進委員会、司書連絡会に町立図書館司書が参加し、学校図書館運営に必要な情報を提供。読み聞かせ・ブックトーク・紹介文の書き方のアドバイスも実施しています。

館のおすすめする本を紹介するだけのものが多いのですが、三芳町のブックリストでは、図書館司書・学校の図書館の担当教諭・司書が何度も議論を重ね、完成ぎりぎりまで学校の図書室や図書館で直接子どもと接する人たちの声を聞き、掲載する本を選びました。今の子どもたちの好みや読書の傾向を考え、長く読み続けられ、評価の高い作品などから「小学生時代にぜひ読んで欲しい」という79冊を厳選しています。

魅力ある表紙と誌面

「大切にしたい。」と子どもたちに感じてもらえるように、表紙は本を読むネズミのかわいいデザインにし、紹介

学校の図書室

上富小学校の図書室。ブックリスト専用コーナーを設置。また、独自にスタンプカードを作成。子どもたちは本との出会いを楽しんでいます。



町の図書館にも目立つ場所にブックリスト専用のコーナーが設けられています。ブックリストをみて親子で本を借りにくる姿がよく見られます。



中央図書館

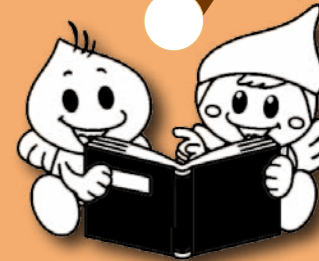


ブックリスト贈呈式

写真は藤久保小学校で4月16日水に行われたブックリストの贈呈式の様子。その他の小学校にも図書館司書が朝礼時に直接紹介し、渡しました。

4月23日水、子どもの読書活動を積極的に実践しているとして図書館が文部科学省から表彰されました。平成14年にも受賞しており、2度の受賞は埼玉県では三芳町のみ。

文部科学省から表彰



小学生向け ブックリスト
みよしまちどのほんがすき?!

できました



中央図書館 ☎ 258-6464

文も、短い文章で、その本の魅力をわかりやすく伝えていきます。

すぐ読めるように

せっかく本に興味を持った子どもが、なかなか読めないということがないようにリストに載せた本のすべてを全小学校の図書室にそろえ、中央図書館には同じ本を何冊か用意しています。また、本の背表紙にはブックリストの表紙と同じネズミのイラストのシールを貼り、探しやすいようにします。

生涯、本の感動を

良質な本に出会った子どもたちは「もっと読みたい」「他にはどんな本があるんだろう

う」と思います。ブックリストは子どもたちが本好きになるためのきっかけです。ブックリストに掲載されている本以外にもたくさん素晴らしい本があり、これをきっかけに生涯を通じて、本の感動を味わってほしいという思いが、このリストには込められています。

読書は頭の中で本に描かれた世界をイメージし、それを楽しむものです。幼い頃に身に付けたイメージする力は、大人になってからも役に立つ貴重な財産になることでしょ

う。これからも図書館では、様々な取り組みで読書の素晴らしさを三芳町に広めていきます。

全冊読破と意気込んでいます

学校図書室司書の声

上富小学校で司書を務めて5年目。児童全員の名前を覚え、一人ひとりの好みに合わせて、おすすめの本を選んであげることも。

子どもたちは、ブックリストをもらったその日から、続々と図書室にやってきて、それぞれ読みたい本を借りていきました。児童からブックリストに載っている本でスタンプラリーをしたという意見があったので専用の台紙を作成し、本を借りるとシールを渡しています。

上富小学校 司書
岡田 富士美さん

アストリッド・リンダグ
レーン作 大塚勇三訳
岩波書店

5・6年生



星川ひろ子写真・文
星川治雄写真・文
小泉武夫原案・監修
ポプラ社

3・4年生



1・2年生



A. トルストイ再話 内田莉沙子訳 佐藤忠良画
福音館書店



ブックリストで紹介されている本の一部